

感動県政 あさのめ新聞

埼玉県議会活動報告 2019.12.24 vol. 67

発行 埼玉県議会 埼玉民主フォーラム さいたま市浦和区支部 〒330-0043 さいたま市浦和区大東1-11-1-501

2019年(平成31年・令和元年)も大変お世話になりました。
お支えを賜わり、埼玉県政発展のため力一杯活動することができました。
2020年も、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



埼玉県知事選挙

令和元年十二月吉日



すべては血となり肉となりましたことを感謝申し上げます。
厳しい寒さが続きます。
来年も変わらず、埼玉県と埼玉県議会の改革・前進のために努力を重ねる決意です。
ご自愛下さいませ。

そのため浦和の街の中を大変お騒がせしたことは、心苦しく思つておりまます。一方、選挙を通じて、多くみなさまのお声をきかせていただくことができました。

ご挨拶

私の県議会議員選挙(4月7日投票)以来、県知事選挙(8月25日投票)、参議院議員補欠選挙(10月27日投票)と、今年は選挙の多い年でした。

そのため浦和の街の中を大変お騒がせしたことは、心苦しく思つておりまます。一方、選挙を通じて、多くみなさまのお声をきかせていただくことができました。

第18回 2019.11.22 埼玉県議会議員 あさのめ県政報告会

政治活動を報告することは政治に携わる者の義務です。

政治とは一体なんだろう、政治家とは一体なんだろう。

いつも考えます。考えなければならぬと思っています。市議16年、県議13年。議会へ送って頂いて29年。正義、勇気、慈愛が大切な価値。そう信じて歩いてきました。

厳しい寒さの夜でしたのに、私の県政報告会に今回も約200名の支援者の方々にお集まりいただきました。深い感謝でした。

①埼玉県議会の抱える深い課題②絶望的な子供の貧困③補助金停止10年目朝鮮学校④政務活動費のインターネット公開⑤県立図書館跡地が花と緑の広場へ。など浦和区での活動などの報告と私の認識を話させていただきました。

「パインズホテルの報告会しか来ないけれど、あなたを応援していて本当に良かったと思っている」と帰り際に話される方がおり、涙が頻に流れそうでした。

ひざまづけ、謝れ、言うことを聞け、聞かないと仲間はずれにしてやる。こういった考え方とは一線を画す人になりたいと思っています。また、困難や危機的状況を先送りせずに、正面から戦う議員となることも、会場で改めて誓わせて頂きました。



会場：ロイヤルパインズホテル浦和



あさのめ profile

1958年5月27日東京生まれ。山形県米沢市育ち。法政大学社会学部卒。小学校教員を経る。さいたま市隣接の上尾市で全国最年少の25歳で市議初当選。地縁血縁の無い中で市議連続4期当選(25~41歳)。1995年、37歳で全国最年少議長。上尾市長選挙次点敗退。政治浪人7年余を経る。

2007年、埼玉県議会議員トップで初当選。以来、4期連続当選。埼玉県庁の中に6,400m²の緑の広場をつくる、全盲の中学校教師を現場に戻す、硫黄島から帰還するご遺骨を入間航空基地で知事に出迎えをさせるなど、必ず成果を上げる実力派議員として知られる。